

2024年2月度月例山行 武川岳（埼玉50山 1,052m ☆☆）報告

CL 小玉和孝

* 日程：2月4日（日）

* 場所：武川岳（埼玉50山 1,052m）

* 参加者：（敬称略）稲越洋一、松尾渡、宮崎則子、町田美春、塚越和子、立原由子
萩原みか、平本美恵子、那須朋美、高倉洋一、SL 朝井紀久子、CL 小玉和孝

* 行程：名郷バス停 9:15→11:30 前武川岳 11:50→12:00 武川岳 12:30→蔦岩山 13:00 →13:30
焼山 14:00→14:35 二子山雄岳 14:50→15:00 二子山雌岳 15:20→
16:35 芦ヶ久保駅 *16:40 芦ヶ久保駅で解散

* 歩行時間：7時間20分（休憩を含む）歩行距離：10.5 km 累積標高差：約1,120m

【行程概要】

午前中は、雨又は雪の予報。名郷バス停付近では冷たい雨がぽつぽつ降っており、雨・防寒対策を取っての歩き始めとなりました。

武川岳登山口までは、車道とショートカットの山道を通って約20分かかりました。その頃には、雨も止み、気温も上がって来たので衣類の調整をして本格的な登山の開始となりました。

まずは植林された杉の中の山道を軽快に進んでいきます。しばらく進むと突然巨大な露岩群が現れました。「天狗岩」に至る岩稜帯の始まりです。右が「女坂」、左が「男坂」の標示があり、第一のクライマックスである男坂に進んでいきます。三点支持を心掛けて慎重に登って行きます。皆さん岩登りを楽しんでいる様子でした。



急登が続きましたが、やがて前武川岳（1,003m）に到着しました。付近は今朝降った雪が少し



残っていました。ここで少し休憩して、武川岳に登頂しました。武川岳山頂は閑散としており、埼玉支部の独占状態でした。登頂の記念写真を撮り、昼食後、二子山に向け出発しました。

蔦岩山を通過して、焼山に到着しました。途中、登山道が一部崩落したため林道を歩く箇所があり道迷いし易い場所がありますが、下見していたためスムーズに通過することが出来ました。

焼山では、埼玉を代表する武甲山と両神山をバックに記念撮影を行いました。埼玉支部山行では、絶好の撮影スポットです！！



焼山から二子山までは、急激なアップダウンを繰り返すので慎重に進みました。

二子山からは、「あしがくぼの氷柱」イベントが行われているため浅間神社コースが通行止めになっているので、兵の沢コースを下ります。ロープを使って急なザレ場を下る本日第二のクライマックスです。皆さん、今までの長い行程で疲れているにも関わらず上手に下って行きました。



日没前の16時35分に参加者全員無事に芦ヶ久保駅に到着しました。



12月に下見山行を実施しましたが、行程も長く、急なアップダウンもあり支部山行としては大変だと感じておりました。天候にも恵まれ、予定時間通りの山行が出来たことを参加された皆さんに感謝です。

終始会話も弾んで和気あいあいの楽しい山行で良かったです。今後とも埼玉支部の皆さんと楽しんで山に登りたいと思います。



全行程の水平 Map

【参加者の感想】

塚越和子：曇り空の中、歩き始めました。急登が続きましたが、皆さんと楽しいお話ししながらだったので、苦になりませんでした。1人で登ってたらきっとこの長い1日の山行は、決して出来なかったと思います。仲間の大切さを、感じました。岩場もあり、帰りの長いロープ場も、あり、変化に富んだ1日でした。皆様、ありがとうございました。

那須朋美：お天気にもめぐまれ、雪も見られて、岩にも登れて、激下りも体験出来てとても充実した山行でした。登山道も明るく長い行程ではありましたが、皆と一緒に楽しく歩けました。なかなか単独では難しい地域なのかなと分かったことも今回の収穫でした。ありがとうございました。

萩原みか：ずっといつかチャレンジしたかったコース。アップダウンが激しく、終始気を抜けない。そして岩あり、ロープありで良いトレーニングになりました。今日は長いロープに体を預けてないでカラダを起こして降りてくるコツを見て学び、やって見て体感できました。稲越さんのご指導に感謝です。深い枯葉の道や滑る泥の所があったり、前夜の雪が一部薄っすらと残っていたり、すぐ目の前に武甲山の削られた台状の所と同じ高さから眺められたり、盛りだくさんな楽しい山行でした。担当者、ご一緒の皆さん、ありがとうございました。

宮崎則子：天気予報には傘や雪だるまマークが並び、登山気分が落ち込むばかり。兎に角、寒さと雨対策をして飯能駅集合しました。休日のバスは混雑が予想されましたが、天気のせいかな乗客もまばらでゆったり座れました。今回の山行は女性の参加者が多く、登り始めから賑やかなお喋りが始まり段々傾斜がきつくなってもお喋りや笑い声のパワーは衰えず、時々薄日が差し始めて雨や雪の心配も無く楽しい山行になりました。コースも岩稜、木の根っこ、長いロープ急坂地帯等、次々と変化がありスリルを楽しみ飽きませんでした。怪我もなくほぼコースタイム通りに下山出来たのは、CL 小玉様 SL 朝井様の山行計画が良かったからだと思います。「武川岳」山行計画書に写真とともにコース概要説明や必須装備品の記述で武川岳の様子をイメージできました。有難うございました。

立原由子：以前から行ってみたいと思っていた、武川岳に参加できまして、嬉しく思っています。私の旧姓が武川で、いつか行きたいと思っていたのです。当日天気が悪いかと思われましたが、幸いに時々青空も見られました。飯能駅からバスに乗り予定通りの山行で私にとって膝を痛めて以来の山行で不安もあったのですが、無事下山できました。計画立てていただきまして、感謝しています。お陰様で楽しい山行でした。ありがとうございました。新しいメンバーも参加されていたので、自己紹介する機会があったらよかったのにと思いました。

町田美春：心配されていた雨もあがり、空気は冷たかったですが歩くと少し汗ばむ程で衣服調整をしながら歩きました。この時期は、落葉しているため焼山からの眺望は素晴らしかったです。ロングコースで岩場やロープを使っの長い下り坂はとても楽しかったです。またチャレンジしようと思います。

松尾渡：武川岳は、両神山・武甲山とともに小生にとって埼玉県で未踏の山で長年憧れる山であった。山行委員会企画の希望者募集ですぐ手を挙げ一向に加えてもらった。2月始めの秩父登山はもっと寒いと勝手に想像していたが、当日は平穏な登山日和で登山口から30分も登ると汗が

首筋を流れる。今回の武川岳-焼山-二子山縦走は各山とも 1000m 前後でそんなに高くないが、歩行距離 10.5km、累計標高差 1100m、岩登り、ロープを何回も継続的に使って傾斜砂道を降りるバラエティに富んだ登山で、冬季トレーニングとしても最適であった。冬の武川岳は四方に埼玉県連なる山々を眺望できる一方、木の芽が少しずつ顔を出し始め春の訪れが近いことを登山者に教えてくれる。2月上旬の登山でありながら、3月中旬ぐらいの陽気さを感じる心地よい登山であった。末筆ながら、山行を企画された幹事の方に感謝するとともに、全員が無事安全に下山できたことを嬉しく思います。

平本恵美子：秩父のロング縦走。岩場あり、急下り、急登り、ロープ無しでは降りられそうもない登山道。武甲山を全く違う角度から見られたりと変化があってとても面白いコースでした。冬の落ち葉をザクザクとしながら歩くのも楽しいですが、若葉の頃にもう 1 度チャレンジしたいなと思いました。

朝井紀久子 (SL)：埼玉 50 山ということで、小玉さんが選んで下さった武川岳。2021 年に支部山行で参加した時は、どしゃぶりの中で、風景の記憶がありませんでした。今回参加して、武甲山や両神山や、大持・子持山、棒ノ折山など奥秩父の山々と、秩父の街の広がりが見えて、どのような山だったのかが、また良く分かりました。参加された皆さんとの会話も楽しく、小玉さんと皆さんに感謝です。

稲越洋一：名郷を起点とした周回ルートはいくつもありますが、2019 年の集中豪雨により、復路のメインとなる「妻坂峠～名郷」が未だに通行止めとなっています。周回ルートは季節を通していずれも興味深いのですが、前記の理由でしばらく足が遠のいていましたので、久しぶりの「天狗岩～武川岳」でした。二子山への縦走も、初めての方が多かったようで、里山とは言え、侮れないロープの急坂のアップダウンが続く縦走路は良い経験になったかと思えます。